

お客様とIBASEKIを結ぶホットライン

ワクワク通信

私たちは エネルギーと生活関連事業を通じて
地域の顧客満足No.1企業を目指しています

2011年 9月号

いばせき広報室

茨石商事株式会社

〒315-0013

茨城県石岡市府中 2-3-19

TEL 0299-24-2680

FAX 0299-23-8056

ホームページ <http://www.ibaseki.com>

E-mail ibaseki@arion.ocn.ne.jp

社長エッセイ 地震・雷・火事・

最近、気象についてつくづく異常だなど感じております。特にゲリラ豪雨なるものが、各地で頻繁に見られ被害が出るようになりました。

去る8月11日の夕方は、石岡市においても110ミリの雨量を記録し新記録かとテレビでも放映されておりましたが、車のワイパーも掃けきらずまさにバケツをひっくり返したとはこのことと実感しました。おまけに、この日は雷(稲妻)も強風も長時間伴い、この世の終わりはこういう風景なのかな? と思つてしまいました。そういえば……とふと思いつせばその日は震度4の地震もあったな、むむ……、火災も2件あったな(落雷のせい?)とくればあと



残り……「オヤジ」。

しかし、昔から言われていた怖い物の代名詞の中に「オヤジ」は現在も存在しているのだろうか?

そんな疑問がふと沸き起こったのでした。たしかに存在感自体も薄れて来ているのも事実。実際私も「オヤジ」と呼ばれる年代となり、威厳の有る父親かと言われると全然反対のような。

しかし、時代の流れるには、昔とスタイルが違っていてもそれもありかな?とか……これを書いていて情けないことに余計解らなくなつてしまいましたので、これに終了。

いばせき

information

イバセキでは、灯油やガス料金のお支払に「元気いしおか商品券」をご利用いただけます。



【ご利用有効期限】

平成24年1月9日(月)まで

ワクワクふるさと紀行

風間阿弥陀と府中城

今年のお祭りの年番は土橋町ですが、その名は中世府中城のお濠に架けられた土橋に由来しています。

江戸時代の古文書「府中雜記」には、土橋周辺のことが記されています。「今御陣屋の下ノ池を上池と云う也。……この辺に今土橋町……古石碑あり、阿弥陀仏という」

御陣屋は元真地(もとまぢ)にあり、市民会館に向かつて左側の住宅地一帯を指しています。かつて府中松平家の藩士たちが居住した所で、いわゆる土族屋敷です。

古い石碑があり、それは阿弥陀仏であると書かれています。これは高さ2m弱の昭和55年6月に市指定文化財となつた「風間阿弥陀」のことです。もともとは、土橋町の風間家の屋敷にありましたが、現在は石岡小学校の敷地内に移されています。

風間家の古文書によれば、応永30年(1423)、常陸平氏の一族・小栗氏が筑西市の居城を失つた際に、その家臣・風間氏が石岡に居を構えていた大塚氏を頼つて逃げてきました。阿弥陀は、そのとき小栗城より持ってきたものでした。それ以来、風間氏の屋敷内に安置されてきましたが、近年移され民俗資料館のそばに置かれています。

阿弥陀仏は不思議な形をしていて、粘土で固められたようなもので出来ています。一番上のくびれには折れた形跡があり、明治はじめの廃仏毀釈の被害にあったことが伺えます。

ご本尊は地下に埋設し、その上にこの阿弥陀像をまつたとあります。その後、府中城は、天正18年(1590)12月、大塚清幹が佐竹義宣に攻められて落城しました。このとき大塚氏の家臣たちは、常陸総社宮近辺や志土庫村、根本村、高倉村に移り、風間氏は土橋町に移住したとあります。

江戸時代の元禄13年(1700)、水戸徳川家の初代藩主・徳川頼房の五男・松平頼隆が府中藩主となり、明治維新に到るまでの170年間、この石岡地方は御連枝・府中松平家の領地でした。その間、代官や役人が在任する屋敷や役宅、府中陣屋も建設され、文政11年(1828)にはこの地のシンボル陣屋門が建てられました。





「ガスで節電」 土鍋炊飯」

今月に入って、東京電力と東北電力管内で発動している大口需要者向けの電力使用制限令を、前倒しで解除するとの発表がありました。企業や家庭などが取り組んだ節電効果に加えて、気温上昇が昨夏より穏やかだったことなどから、東電管内を中心に供給余力に一定の余裕ができたようです。

しかしながら、努力目標として一般家庭や中小企業など小口需要者にも、引き続き年間を通じた節電対策が求められています。

「電気ですかにできないことは電気です」ガスでできることはガスで「エネルギーを上手に使い分けることで、まだまだ一般家庭での節電が可能になります。

例えば、調理に利用している電子レンジや電気炊飯器、電気ポット、トースターなどは、ガスコンロを代用することもできます。

電気でなくてもガスで……と、見方を少し変えてみてはいかがでしょうか。機器を買い換えるのではなく、「調理方法」を変えるだけで手軽に節電に繋がりますよ。

それでは、土鍋とガスコンロで美味しい白米を炊いてみましょう。

ボウルで米を洗い、同量もしくはやや多めの水を入れ土鍋に移す。



30分ほど浸水させてから強火にかける。



沸騰したらそのまま約5分炊く。



火を止めてふたをしめたまま約20分間蒸らす。



強火で炊きはじめて沸騰後、弱火にするだけ。火を消した後の土鍋の余熱で、蒸らしておいしいごはんに仕上がりますので、むずかしい火加減は一切ありません。土鍋ごはんにぜひトライしてみてください。

『いばせきフェスタ』のお知らせ

【日時】平成23年9月25日(日)

11:00～16:00

【場所】グリーンパレス石岡

石岡市茨城3・16・20

駐車場有り

『いばせきフェスタ』は、弊社の業務活動のご案内を含めた各種コーナーや、東日本大震災の復興に向けたチャリティーイベント等をご用意しております。

ご近所、ご友人等お誘い合わせの上、お気軽にお越し下さい。スタッフ一同、多くの皆様のご来場をお待ちしております！

チャリティコンサート

ボーカリストの伊東真紀さんとピアノの今井亮太郎さんによるセッション。ふるさと石岡の地に歌声を届けに来てくれます！

第1回公演 11:30～12:00
第2回公演 15:00～15:30

チャリティバザー

【開催時間】13:00～14:30
多くの方のご好意でたくさんのお客様が集まっております。ご協力誠にありがとうございます。当日のバザーをお楽しみに。

チャリティーたこ焼き&焼きそば「カリッ ふわっ で美味しい！」と大評判のたこ焼きです。

お問合せは

0120 41 2680

気になるお店

居酒屋「河内屋」

石岡の商店街が活気に包まれていた頃から、河内屋はまちの代表的な居酒屋でした。ご主人の祖父が河内・富田林の出身だったので、河内屋と名づけました。

お手元の袋に「おにぎり・やきとり」とあるように、昔ながらの庶民的な料理を出すお店です。

金刀比羅神社にほど近い国府五丁目の十字路に位置し、外観は緑におおわれた二階建てのお店です。

店内は昭和の匂いが漂うクラシックな雰囲気、気軽にお酒を楽しむことができます。カウンターのほか広い座敷があり、大人数での宴会も可能です。アット・ホームな雰囲気、リーズナブルな料理が食べられます。



何と言っても絶品なのは、やきとりとおにぎりです。やきとりは味わいのあるタレで、何本でも食べたくなります。さりげない逸品です。

最後の仕上げはおにぎりです。海苔の香りとお米の感触がすばらしく、お店の看板料理に恥じない至高の味です。



おにぎりがかれほど美味しいものかと感じるほどで、コンビ二の味に慣れた舌には、しびれるほどの衝撃がありました。

気さくな雰囲気、のんびりとお酒や食事を楽しまたい方には、おすすめのお店です。

居酒屋 河内屋

石岡市国府5-1-20

電話 231-5639

営業 午後4時30分～12時

定休日 毎週月曜日